

(2026年6月号掲載)

群馬県内企業の賃上げに関するアンケート調査

群馬経済研究所 研究部副部長 伊勢和広

調査のポイント

消費者物価の上昇や人手不足が続くなかで、企業による賃上げの動向が注目されている。本稿では、県内企業に対して実施した賃上げに関する調査結果を報告する。あわせて初任給の引き上げ状況についても示す。

要約

- 2026年度に賃上げを実施した企業（実施予定を含む）は82.3%となった。
- 賃上げ率は、「2～3%未満」とした企業が約4分の1で最も多く、次いで「1～2%未満」「3～4%未満」も2割を超えた。賃上げ率の平均値は3.20%（うちベースアップ率は2.63%）となった。
- 賃上げした理由では「社員のモチベーション向上」が約4分の3を占めた。一方、賃上げしない企業は少数派だが、その理由では「売上の先行き不安」が過半数を占めた。
- 来年度の賃上げ実施については、「実施する予定」が6割弱を占めた。